

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:2024年 3月 31日

公表:2024年6月 18日

事業所名 こども支援センターみどり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		写真や絵カード、タイムタイマーなどを使用した視覚支援を取り入れている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日のミーティングの時など、考察や改善案を話し合うように努めている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在第三者評価の予定はない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修、外部研修の参加に務めている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		必要に応じてリハ職の意見を取り入れた計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		記録や個別課題のケースに支援計画が記されている。必要に応じて計画内容を確認しながら支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々のミーティングなどで話し合いをしている。職員会議の時にも議題として取り上げている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		14と同じ。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○			対象者がいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○			23と同じ。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			園訪問や見学、電話での相談対応などを行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			機会があれば研修等に参加する。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			並行通園のため設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			お迎えのフィードバックの時に、必要に応じて行っている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている		○		フィードバックの時に、困っていることなどを聞いて話をすることはある。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			30と同じ。また、定期的なモニタリングでも話し合っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			父母の会や保護者会がないため、今後も開催予定はない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			30と同じ。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			季節ごとのおたよりや、ホームページの更新を行っている。また、メール配信サービスにも登録をお願いしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			契約時に個人情報同意書の説明を行っている。ホームページやおたよりの写真掲載には注意している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			法人内での行事開催を行っている。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		ほぼ毎月、法人内で指定された防災訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用前に配付する家庭調査票に記入欄があり、内容の確認をしている。また、別紙で対応表も作成しており、内容や対応に間違いがないか保護者に確認している。	法人内の看護師にも確認してもらい周知している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		43と同じ。	43と同じ。また、管理栄養士にも同様に伝え対応等について検討していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		やむを得ず行動の制限をすることがあることを契約時に説明しているが、計画書には記載されていない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援評価の集計結果

公表: 2024年 6月 18日

アンケート期間: 2024年2月10日～2024年2月29日

事業所名: こども支援センター みどり

保護者等数(児童数) 19人 回収数 12人 割合63%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	4	1	1		・決して広いとは思えない。少し狭く感じる。	・不用品は片付けて、室内が広く使えるように心がけます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	3	0	2		・専門性の高い方が少なく感じる。早めにお迎えに行くと先生が2人しかいない…みたいなのが有り、子ども達は全員いるのに先生が2人、3人は少ないか?と思った。実際、喧嘩が起こり、他害が出る子もいたのに全然止められず…って感じて正直かなり不安になりました。	・法人内に言語聴覚士、作業療法士、理学療法士など各種専門の職員が在籍しております。必要に応じて相談することは可能です。 ・お迎えの時に職員数が少ない事については申し訳なく思います。トイレ介助や電話連絡の他にも現場を離れる業務があったと思います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	2	0	1		・外靴置場が毎回変わり、字も読めないの、変わるのであればマークなど本人にもわかるようになったらいいと思う。	・マークやシール、カラーリングなど目印になる工夫をしたいと思えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	2	0	0		・清潔さはある程度保たれていると思うが、元々児発用に建てられた施設ではないので子ども達に合わせた空間、分かりやすい環境になっているかという点少し微妙かなと思う。	・真ん中の仕切りを使用して、時間ごとに活動の部屋にしたり、食事の部屋にしたりと使い分けをしています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	9	2	1	0		・担当の先生と親のみの面談で内容を決めているので、客観的に分析がされているとは思えないと思う。	・担当の職員の面談報告を元に、児童発達管理責任者と内容の決定を行っています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	2	0	1		・チェック項目の内容自体がよく分かりません。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1	0	0		・個別活動の時間は少なく、その内容も特に個人の課題に合わせたものではないように感じる。	・今年度の途中から個別活動に取り組みました。毎月最終の週だけは少なく感じられたかもしれませんが、内容もご家族様からの聞き取りを詳しく行いたいと思います。
	8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	10	2	0	0			
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	2	2			
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	2	0	1		・入所前にされたような?あまり記憶がないです。	・新規契約の聞き取りの時に、ご説明しております。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10	1	0	1			

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※iv等)が行われているか	2	5	3	2		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	1	1	0	・毎回お迎え時には割と丁寧に話をし下さるし、こちらの話もちやんと聞いて下さるので、大体できていると思う。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	4	0	0	・支援計画作成時のみの面談を定期的と言っているのかわかりません。育児への助言は正直そんなにしてもらっていません。	・お迎えの時以外にも必要に応じて相談の時間は設けたいと思います。お声かけて頂きたいと思えます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	3	4		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	1	0	2	・体制が整備されているかも、そんな周知・説明はなかったようなので、どうなっているのかわかりません。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1	0	0	・お迎え時に時間を取っている。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	4	0	1	・福祉事業団のHPにたまに活動の様子が載ることがあるがかなり少ない。保護者のみ見ることのできるHPがあって、もっと活動を伝えて欲しい。	・現状、事業団のHPが不特定多数の閲覧ができるサイトじゃないため、内容やアップする写真を慎重に厳選しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8	1	0	1		
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	3	1	1	・保護者にマニュアル等の周知・説明はなかったと思う。
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	0	3		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9	0	0	1		
	23	事業所の支援に満足しているか	8	1	0	1	・もう少し専門性の高いスタッフを増やしていただきたいというのが正直なところ。育児の個にももう少しなるほど！と思えるような答えや気持ちを感じてもらえる答えが欲しい。	・在籍している職員もスキルアップのための研修に参加し、様々なアドバイスができる様に努めます。

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

ご協力ありがとうございました。